

子育て中の大学院学生へのご配慮のお願い

妊娠・出産・子育てをする年齢は、大学院学生として過ごす時期と重なることが多くなります。そのため、過度な負担がかかり、その結果、研究を諦めてしまうこともあります。研究を続けたいと思う大学院学生が、妊娠・出産・子育てをしながらも続けられるよう、以下のことについてご理解いただき、学生本人と対話をしながら対応をご検討いただけますようお願いいたします。

妊娠・出産・子育てにより、授業や課題等への取り組みが困難となる場合があります。

とくに乳児には昼夜問わず授乳が必要なことが多いため、大きな疲労を抱えている学生もいます。



対応を決めつけず、
本人の意向を
聞いてほしい!

妊娠・出産・子育ては個人差が大きいため、本人の意向を聞きながら、個別の事情に応じたご対応をお願いいたします。



思うように研究が進められないことに、本人も苛立ったり落ち込んだりしているケースもあります。両立に向けて、ぜひ励ましていただけますようお願いいたします。

子育て中の大学院学生からの声

- 指導教員の理解はあるが、雑務を任せてもらえないなど過剰な配慮を感じることもある。まずは自分の意向を聞いてもらえると嬉しい。
- 子連れで対面のゼミに参加するのは「他の学生のロールモデルにもなるので」と提案してくれた先生には今でも感謝しています。

出産後すぐの大学院学生の声

- 乳児の育児中の深刻な寝不足の中、授業を受けていた時、教授から質問されて頭が回らずに「分からない」と回答したところ、「分からないのではなく、考えないとだめだ」と厳しく叱責されてしまった。
- 体調が回復せず外出が難しかった時に、快くオンラインでの受講を提案してもらえてありがたかった。



関連情報

子育て中の研究活動継続のために、以下のような学内外の様々な制度や支援もあります。大学院学生が有効に活用できますよう、情報共有等ご協力いただけますようお願い申し上げます。

学内外の有益な
情報を
教えてほしい!



休学・長期履修学生制度について



休学や長期履修学生制度を必要とする学生がいる場合、本人と相談のうえ適切なご助言をお願いします。

保育園・学童申請について



学内保育園入園案内



大学院学生の保育園・学童保育への提出書類について



その他の支援制度について



学内

在学生支援リンク集

ワーク・ライフ・バランスを重視する研究者のための
アカデミアキャリア構築スキルコース
UTokyo Women+
研究者ネットワークイベント その他



学外

東京23区が案内している支援(一時預かり事業等)



学振DCの産休・育休制度

